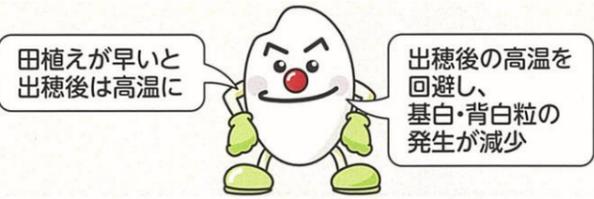


# 営農技術情報（第2号）～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

＜目指せ！うるち玄米1等米比率90%以上継続！！＞

- 苗が軟弱徒長にならないよう、**育苗ハウスの換気を徹底**
- 高温登熟を回避するため、**コシヒカリの田植えは5/15**を中心！
- 基肥量は、**土壌条件に応じて調整**し、**落下量を確認**
- 除草効果を高めるために**除草剤は遅れずに適正量を散布**



## 1. 硬化期の育苗管理

### 【温度管理】

- ハウス内温度は、**25℃以下**となるよう換気を徹底しましょう。  
(特に、晴天日は早朝から換気しましょう。曇りの日でも日差しがあればハウス内の温度はかなり上昇するので換気しましょう。)
- **田植1週間前からは、夜間もハウスを開け**ましょう。  
※夜間の気温が5℃以下となることが予想される場合は、ハウスを早めに閉めて保温に努めましょう。

### 【育苗期間中の温度管理の目安】

ステージ	出芽期	緑化期	硬化期
育苗 日数	3日 (3日)	2～3日 (3～4日)	13～15日 (15～20日)
温度	昼	30℃	<b>25℃以下</b>
	夜	30℃	10℃以上

注) カッコ内は4月上旬に播種した場合

### 【水管理】

- かん水は朝1回を原則とし、**床土の乾きに応じてかん水**しましょう。

- ・5月中旬移植の場合ハウスを開け
- ・昼間は搬出直後から換気を行い

## 2. 本田準備

- 代かきは、**田植予定日の3～5日前に実施**しましょう。
- 代かきは**少なめの水で行い**、稲わらや雑草等をすき込みましょう。また、代かき後は自然減水とし、濁り水をほ場外に流さないようにしましょう。

## 3. 田植

- **栽植密度70株/坪、植付本数3～4本、植付深さ3cm程度**となるように田植機を調整しましょう。  
※前年度、収量が少なかった場合、栽植株数を増やしてみましょう。

### 【基肥量】

- 基肥量は、**土壌に応じた施肥基準を遵守**しましょう。
- 施肥量は、肥料やほ場条件等により異なります。田植時には落下量を確認し、必要に応じて再度調整しましょう。

### ポイント！

- ・株数は**70株/坪**、
- ・掻き取り量は**標準よりも「少なく」**、
- ・植付深さは**「浅く」**、  
設定すると目標に近づきます。

### ＜肥効調節型（一発）＞

品種名	肥料名	基肥量(kg/10a)		
		砂質浅耕土	砂壤土	壤土
コシヒカリ	Jコートコシヒカリ1号	35	30	25
	けい酸加里入り Jコートコシヒカリ1号	45	40	35
てんたかく81	LPs 早生専用		43	40
てんこもり	LPss 晩生専用			
ゆうだい21	ゆうだい21専用	40	35	30

### ＜分 施＞

品種名	肥料名	基肥量(kg/10a)		
		砂質浅耕田	砂壤土乾田	壤土乾田
コシヒカリ	基肥206	35	30	25
てんたかく81		45	40	35
てんこもり				

## 【育苗箱施薬】

○田植時に育苗箱施薬を行う場合は、規定量を散布しましょう。

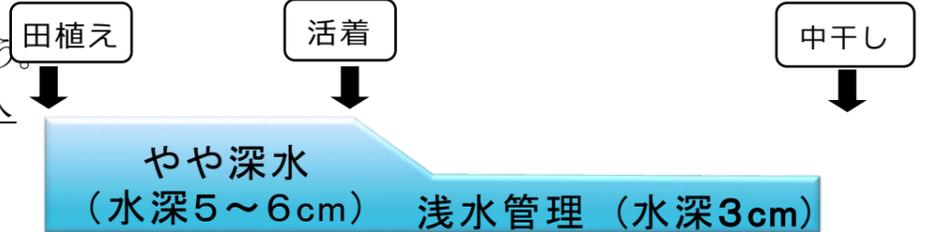
使用農薬	散布量	施薬時期	対象病害虫	使用回数
エバーゴルワイド 箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前) ～移植当日	葉いもち、白葉枯病、紋枯病、イネミズゾウムシ、 イネドロオウムシ、ニカメイチュウ	1回
ルーチンアドスピノ 箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前) ～移植当日	葉いもち、白葉枯病、イネミズゾウムシ、 イネドロオウムシ、ニカメイチュウ	1回

## 4. 水管理

- 田植直後は、苗が水没しない程度のやや深水としましょう。
- 活着後は、初期生育の促進のため浅水管理とし、早朝入水・日中止水で田水温が高くなるように努めましょう。

### 【水管理のイメージ】

(田植後4週間までに開始)



## 5. 除草剤散

### ＜除草剤施用時期の目安＞

	田植	田植後日数																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
初・中期一発剤体系																		
◎雑草が多い場合																		

雑草が残った場合は、中期剤または後期剤を散布

- 薬剤ごとに登録内容を確認し、適切に使用しましょう。
- 代かき後に気温が高いと、雑草の発生・生育が早まるので、遅れずに散布しましょう。
- 散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させないようにしましょう。
- 散布後7日間は、止水管理(落水やかけ流しをしない)とし、水田外への流亡を防ぎましょう。
- 田植同時散布機を使用する場合は、薬剤によって開度が異なるので散布機を調整しましょう。

## 6. 斑点米カメムシ類発生防止対策

### ＜畦畔等の草刈り・除草剤散布＞

- カメムシのエサとなるイネ科雑草が出穂をしないように、畦畔等の草刈りや除草剤の散布を行い、カメムシ類が発生・増殖しにくい環境づくりに取り組みましょう。

## 令和4年 春の農作業安全運動（4月1日～5月31日）

### 「しめよう！シートベルト」

春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。  
農場や用水路の危険箇所の把握・改善や余裕をもった  
作業計画など、事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。



トラクター運転時にはシートベルト装着!!  
※昨年、全国でトラクターの転落・転倒事故が多発しました

★富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています★

<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/> こちらで検索！

JA 富山市 営農情報

検索